

令和三年十一月二十九日 希望の光勉強会

神 示

—— 神の手の中 「運命」を宿され 有限の時時代を生きる

「人生の真実」を知って生きる——

この一言いちごん「真理」に気付けた人人間は皆

自然と運命に重なる心の動きを取っている

なれど 知識で社会の全てが見えるところ人々も多く

努力で人生を乗り切る思いが強い

なれど 真実 努力の限りは浅く

成果に届かず 悩み 苦しむ

信者に申す

運命に重なる人生を手にするために

「教え」に気付きを得る努力心がほしい

「教え」を通し

社会の姿 併せて我が心の姿状況を見詰めて 日々送るにちにち

自然と迷う思いは治まり

「分ぶん」と立場をわきまえ 「任」を果たす人存在と成る

「運命」に重なる人の姿心 ここにある

神見るに 皆は信者「教え」を守る心信念が薄い

人の言葉に「心」振り回され

「道」の真理に「生きる」気持ち揺れる

心明るく 強く

「運命」に重なる人生を歩み抜く人人間を目指すべし